

Vol. 155



2021年5月1日発行

# 愛猫、アトピーになる



2年前よりひょんなことから保護猫を飼うことになりました。犬は何匹か経験しているものの、猫は初めて。おつかなびつくりでしたが可愛さは同じ。猫は2歳になりスクスクと育っている。はずでしたが、今年2月ごろからお腹、脚、お尻に皮膚炎が広がりはじめました。えさが悪い？ダニがいる？脂肪で毛穴が詰まっている？ネットで調べてできる限り

のことをしますが一向によくならず炎症は広がる一方。猫の舌はざらざらしていて益々傷が深くなります。近くの病院へ連れて行くも対処療法のステロイドを注射されてしまい解決の糸口がみつからない。そこで知人から紹介された病院へ。先生はカビやダニ、ノミ、細菌など考えられる原因を検査し全て陰性。その後じうっと一時間ほど話を聞きながら猫を観察。「この子はとて

も臆病で神経質だけれど我慢強いところもあってお行儀がいいですね。コロナ禍で生活に変化はないですか?」と質問。そういうえば私が家にいることが多く、世話はしないけど抱っこを強要していく。先生は生活習慣をいろいろご指摘になり、投薬はなし。抱つこの強要をやめ、物音を立てないように、嫌がることをしないように、私も餌やりやお世話に参加したところひとつ月でアトピーが7割治癒。にわか猫好きには猫の習性も先生の素晴らしさも大変勉強になつた出来事でした。

関修一（せきしゅういち） 健育会 東銀座整骨院・整体院・鍼灸院・マッサージ院 院長 代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルのface to faceは「患者さん自身に向か合って患者さんの症状と闘う」ことを願つてつけた